

## 基本の方針

- 春季で単元別のプリントの仮定法までの範囲を1周する予定
- 夏までに単元別ではない文法ができるようになる
  - 読解などの長文を読むときに出てくる文法を重点的に扱いたい
    - 関係代名詞
    - 不定詞
    - 分詞
    - 接続詞
    - 前置詞
  - 品詞重視の思考を身につけて、その範囲を広げて構文が理解できるようになる
- 解釈
  - 現状の指示内容
    1. 前置詞、関係代名詞、コンマなどで区切る
    2. 区切ったまとまりごとに訳す
    3. 主語や目的語が長い場合は文型の要素で区切っても良い
  - 現状の解釈はあくまで訳を丁寧に行う訓練であり、文の主張などを考えさせる必要はないと思っている。
  - SVOCを丁寧に振るなどをするかは任せます。
- 夏から英文解釈を本格的に
- 秋から共通テスト形式の図やグラフ、情報整理の問題がとけるよになる
- この辺でrules1をやってもいいかも

## 宿題

### 解釈

1. 土曜までに進めた分の解釈を提出
2. 火曜までに奥原が目をとおして、返却
3. 奥原の印箇所についてなぜ印が付けられたか授業までに考える。調べる

### その他文法

- vintageはランダムのを少しずつ進めさせている
- それ以外に授業の残りの文法問題

## 授業

1. 単語テスト(奥原用意)
  1. 丸つけは正誤のみ印をつけ、間違っているものは宿題として本誌で調べさせる。
2. 解釈のフィードバック、質問
3. 文法
  1. vintage
  2. 整序問題->基本こっち、単元は厳選して毎週用意します。

## 黒歴史ノートのルール使い方

- 覚えていない文法の用法やイディオムを整理するために使う

- 毎日単語帳と同様に目をとおす
- 授業中に知ったことについては授業中にはそのノートに書き込まず。授業後に書き込む。授業時は適切な紙またはプリントにメモしておく